

市民の命と安全を守るクマ対策を！

民報

おうしゅう

読者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢大手町三丁目 59
Tel 24-2021
Fax 24-2049



11月17日、日本共産党奥州市議団は、倉成淳市長に「クマ出没から市民の命と安全を守る対策の強化を求める申し入れ」を行いました。

全国的にクマの出没・被害が相次ぎ、岩手県内の死者は5人と全国最多です。奥州市内でも、中心市街地や住宅街を含む市内各地での出没が頻発し、人身被害が懸念され、市民の命と安全に関わる重大かつ緊急事態です。

災害並みの異常事態 市の体制強化を

今野裕文市議団長は、①クマ対策の基本方針を市民にわかりやすく周知すること②クマの出没状況の迅速かつ的確な情報提供と注意喚起、特に、

広報車活用を拡充すること③人の生活圏に出没するクマは駆除し、緊急銃猟の体制を早急に確立すること。通学・通園の安全を確保すること④災害並みの異常事態に対応する市の体制を強化すること⑤クマの移動ルートとなる胆沢川・衣川等の河川敷における藪の伐採を早期に実施すること、と5点について申し入れしました。

国の「クマ被害対策パッケージ」に沿って

倉成淳市長は「国の『クマ被害対策パッケージ』にある緊急時・中長期対応に沿ってすすめていく。総合的な内容を検討したうえで、市民に示していく。緊急銃猟については11月中旬にマニュアルを作成、12月の警察と猟友会との協議を経て、年明けから運用する。川の問題では、国土交通省が川原の枝の刈り払いをすすめているので、市内の河川についても要望していく」と述べました。

令和6年度決算審査 教育委員会

教育施設の修繕について

瀬川貞清議員は、小学校、中学校事業費の、物品等修繕料、施設等修繕料に関わって、学校現場からの要請額の総額がいくらになつていくのか、また、要望件数がどれだけあつて、それに対し教育委員会としての予算要望の総額はいくらだったのか、現場からの要望額に対し、実施された割合はいくらになったのかについて質しました。

5335万円の修繕費

担当者は「各施設からの修繕要望額は、小学校は176件で、1億552万9000円、中学校は61件で、3千85万3000円、幼稚園は8件で、752万5000円、給食センターについては、27件で、170万2000円となつている。市長部局への要求額は、総額で5200万円、決算の総額は304件で5335万8000円である」と述べました。「大型工事費は含んでいない」と付け加えました。

令和6年度施設修繕等予算要求状況

教育総務課

(単位：千円)

	小学校		中学校		幼稚園		給食センター		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
施設からの要望額	176	155,529	61	30,852	8	7,525	27	17,062	272	210,968
予算要求額	35	28,500	22	14,000	3	2,500	7	7,000	67	52,000
予算内示額		28,500		14,000		2,500		7,000		52,000
決算額	166	30,908	77	14,007	9	1,760	52	6,553	304	53,358

※決算額欄の件数は、各施設からの要望を受けた修繕件数、保守点検において修繕を受けた修繕件数、各施設へ配属した修繕件数及び急修修繕等件数を計上しております。

奨学金の利用促進について

菅原明議員は、奨学金を要望された方がもれなく利用できたのか、また、貸与事業の貸付内容が、数年変わりが無いのかについて質しました。

希望者全員に

担当者は「奨学金対象者数は30名であり、そのうち新規は5名だった。動きとしては、年々減少している状況である。希望された方は、全員条件を満たしているの、貸与した。奨学金の利用促進について、各学校に周知しながら、必要な方には利用を促していきたい」と述べました。

就学援助について

千葉敦議員は、就学援助について、物価高の生活が大変な住民税非課税世帯等への拡大と、費用のかかる修学旅行費の前払いをすべきでは、と質しました。

国の方針に従う

担当者は「就学援助の支給対象者や支給単価は、国の補助金の捉え方を基準としている。修学旅行の前払いは検討していく」と述べました。

子育て支援の立場で

拡大を

千葉敦議員は、支給対象者の拡大は奥州市独自の政策として子育て支援の立場から必要ではないか、と主張しました。